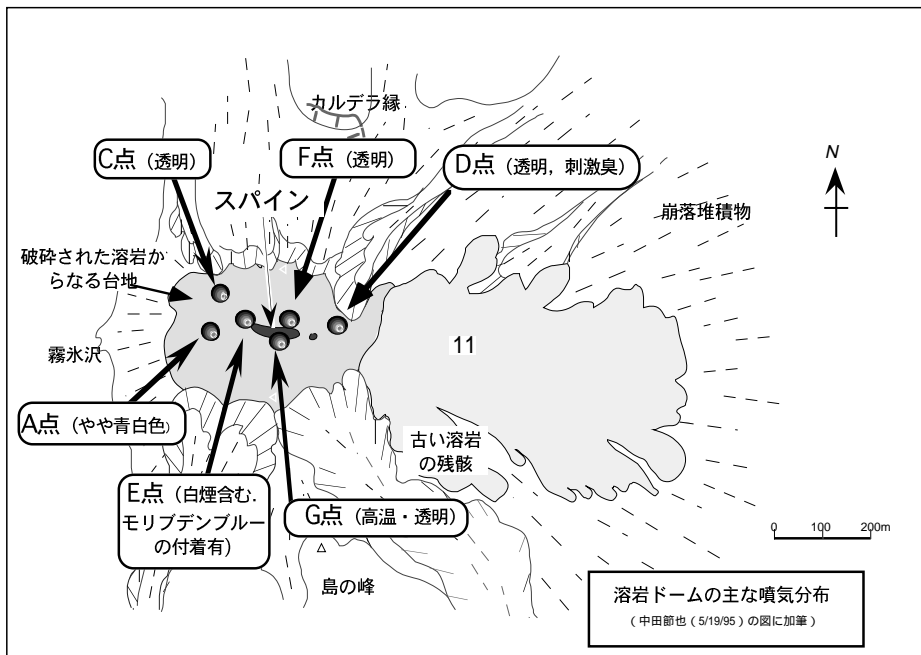
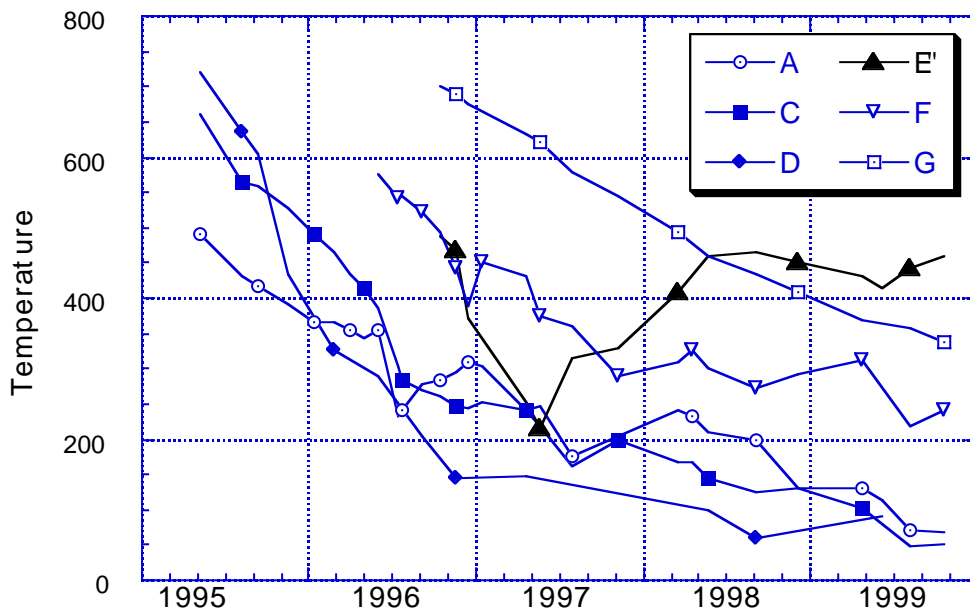


平成新山ドームの噴気ガス温度変化

九州大学島原地震火山観測所



Temperature of Fumarolic Gas



- 噴気ガスの温度はほぼ順調に低下している。青白いガス（主に二酸化硫黄）や刺激臭のガスの量はしだいに減少している。
- 1999年10月20日測定での最高温度は、E地点の摂氏461度であった。
- 地獄跡火口の直上に位置するE点は1997年5月頃に一時上昇しているが、特に色や臭いに変化は見られなかった。E噴気口周囲の溶岩崩落に伴う噴気の流路変化によるものと思われる。なお、E噴気孔周囲には火山内部が高温であることを示すモリブデンブルーの付着が見られていたが、最近では少なくなっている。